

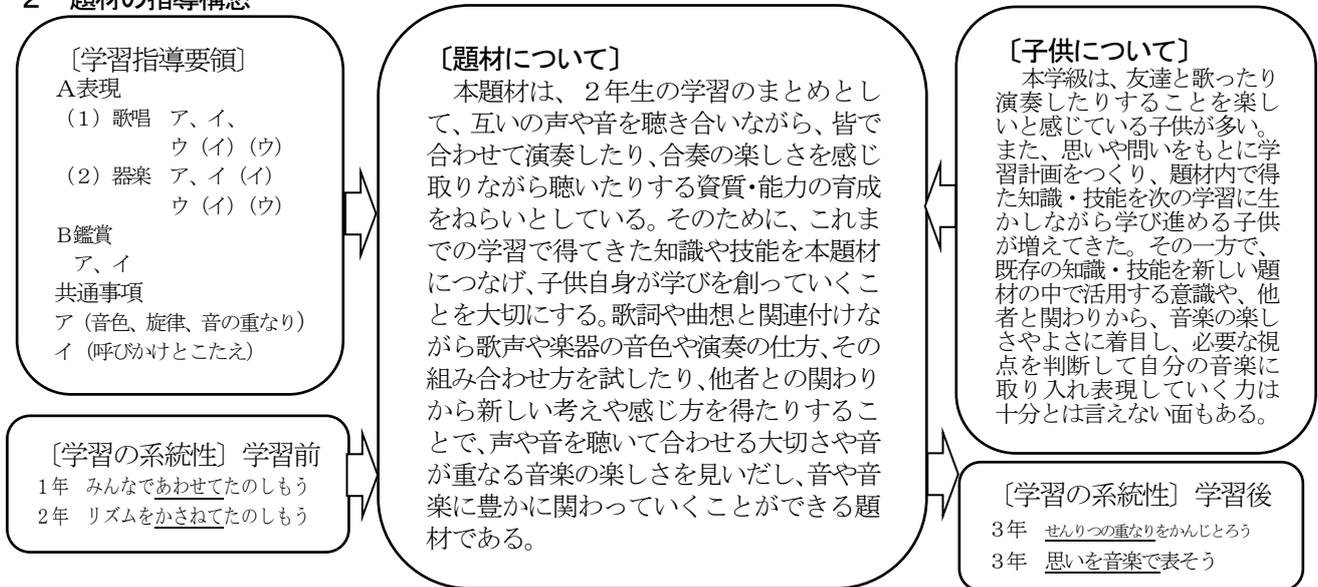
第2学年 音楽科学習指導案

日 時 令和7年2月15日（土）2校時
 場 所 3階音楽室
 児 童 男15名 女16名 計31名
 指導者 小野寺 洋子

1 題材名

みんなであわせて楽しもう

2 題材の指導構想



3 指導にあたって

視点1 資質・能力を育むためのカリキュラム・デザイン

<本題材における深い学びの姿>

曲想や歌詞と音色や旋律、音の重なりを関連付けて考えながら表現の仕方を試したり、聴き比べたりしたことをもとに、どのように演奏するか思いをもち、音を聴いて合わせる大切さや音が重なる音楽の楽しさを見出す姿

<育みたい資質・能力>多面的思考力→論理的思考力

「考えるための技法」を使って、課題を解決したり、自分なりの考えを生んだりする力

【生活科】

「あしたへジャンプ」

自分の成長を振り返るために、これまでの学習（既習）を関連付け、自分の成長やこれからについて考える。

目的と既習を関連付け、自分の考え（表現）をもつ。

【学級活動（1）】「ありがとうをつたえよう」

ありがとうの気持ちを伝えるために、これまでの経験（手紙・歌・言葉・行動・清掃など）を関連付け、人やものに合った伝え方を考える。

【音楽科】「みんなであわせて楽しもう」

目指す音楽（曲想や歌詞を生かした音楽）を表すために、曲想や歌詞と音色や旋律、音の重なり（既習）を関連付け、どのように演奏するかに対しての思いをもつ。

【算数科】「長い長さをはかってあらわそう」

長い長さのものを測るために、cmやmmの学習（既習）を関連付け、ものの長さを分かりやすく表現する方法や単位の意味、測定の原理について考える。

【体育科】「ボンバーゲーム」

友達と一緒に得点をとるために、宝とり鬼遊びやミニサッカーの学習（既習）を関連付け、ボールを投げ入れる場所や人の動き、ルールについて考える。

視点2 深い学びの実現に向かう探究的な題材構成

- ・ 子供が、必要な知識や技能を獲得し、それらを発揮しながら音や音楽に連続・発展的に関わっていくことができるように、共通事項〔音色・旋律・音の重なり・呼びかけとこたえ〕を要とし、歌唱・器楽と鑑賞を関連付けた題材を構成する。その中で、子供が思いや願いをもとに学習課題や計画をつくり、既習を生かして学び進めていくことができるように、教師の問いかけや振り返りの活用、学びの蓄積を行う。(探)
- ・ 子供一人一人が、自分にとって最適な学びを行い課題解決していくことができるよう、興味・関心や技能などに応じて表現(聴き)したい内容や解決方法を選択し、曲想や歌詞と関連付けながら表現に対する思いや曲や演奏に対する考えをもったり、自分の課題に向かって演奏したりする活動を題材に位置付ける。(個)
- ・ 他者との関わりから音楽を深めていくことができるように、他者から音が重なる演奏に対する新たな(多様な)考えや感じ方を得、それらを自分の表現(考え)と比較・関連付け、表現を再構成したり曲や演奏の楽しさを見いだしたりする活動を題材に位置付ける。(協)

視点3 単位時間の考える活動の充実

- ・ 子供の興味・関心、技能などに応じ、課題や思いをもとに課題解決や目指す音楽の追究が図られるように、個人課題や見取りに基づいた支援を行う。(個)

○興味・関心、技能に応じた内容や解決方法の選択を促す。○躓きを解決するために、他者との関わりを促す。
○学習状況を確認する活動を設定する。 ○思いを表出したり根拠を問うたりする問い返しをする。

- ・ 音が重なる音楽の面白さやパートの役割を捉えたり、曲想や歌詞と関連付けて演奏の仕方を考えたりすることができるように、歌声や楽器の組み合わせによる音楽を聴き比べたり、演奏するための視点(既習)を出し合ったりする活動を位置付ける。また、演奏の仕方(音楽を形づくっている要素の働きや記号を生かす)を試したり、音楽のよさを伝えるにはどうしたらよいかを考えたりすることを促す。(個)(協)
- ・ 協働して表現や聴き方を深めていくことができるように、「変容につながる工夫をしているか。」「どこに、音楽の楽しさを見いだしているか。」の視点で子供を見取る。その中で、子供の表現や気付きのよさに対する価値付けや、「何を試しているか。」「それは、どうしてか。」「どこがよいと感じたか。」など、選んだ根拠や見つけた方法や音楽の楽しさに着目する問い返しを行う。(協)

4 題材の指導計画

(1) 目標

- ・ 曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。

【知識及び技能】

- ・ 音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことを関連付け、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・ 歌声や楽器の音色、声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に表現する楽しさを感じる。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 曲想と音色や旋律などの音楽構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ② 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 ③ 楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて鍵盤楽器を演奏する技能を身に付けている。	① 音色、旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことを関連付け、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ② 音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことを関連付け、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 ③ 音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことを関連付け、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	① 歌声や楽器の音色、声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組みうとしている。

(3) 指導計画 (8時間)

次	時	主な学習活動		評価規準 → (評価方法)	学習材
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 既習曲と比べて「楽しいね」を聴き、気付いたことや好きなところを出し合う。 学習計画をつくる。 歌詞の様子を思い浮かべながら、CDを聴いたり、歌詞唱(旋律やリズムを生かす・動作化)したりする。 かけ声と歌グループに分かれ、歌い合わせたり、聴いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「個別最適な学び」の手立て ●「協働的な学び」の手立て ・「皆で合わせて音楽を楽しみたい。」との思いをもつことができるように、既習曲と比べて聴くように促したり、「かけ声」と「歌」グループのどちらかを選び、歌い合わせたりする活動を位置付ける。(探) 	<ul style="list-style-type: none"> 【態度①】 →発言、観察 プリント 【知①】 →発言 プリント 	楽しいね
	2	<ul style="list-style-type: none"> 前時を振り返り、「楽しくする音楽のカギ」を確かめる。 グループで楽しくする歌の工夫を考え、試す。 考えた工夫を交流する。 見付けた工夫を生かし、自分の歌いたい役割を決め、色々な組み合わせで歌い合わせることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歌詞の様子に合った表現の工夫を考えることができるように、既習をもとに視点をもって試すよう促したり、友達から得た情報から音楽を再構成する活動を位置付けたりする。(視点) 歌詞に合った動き・強弱 音色・リズム 	<ul style="list-style-type: none"> 【思①】 →発言、観察 プリント 	
2	3	<ul style="list-style-type: none"> 既習曲と比べて「こぐまの二月」を聴き、気付いたことや好きなところを出し合う。 学習計画をつくる。 歌詞の様子を思い浮かべながら、CDを聴いたり主旋律を歌ったりする。 主旋律を階名で歌い、その特徴を捉える。 息の強さや指のポジション、演奏の仕方(歌詞に合った表現・音色)に気を付けて、鍵盤ハーモニカで演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～な合奏を演奏してみたい。」との思いをもったり、学習計画をつくらしたりすることができるように、「曲の特徴・好きなところ」に着目して聴くように促したり、「これまでの学習で生かせそうなことや、やってみようこと」を問うたりする。(探) 	<ul style="list-style-type: none"> 【知①】 →発言 プリント 	こぐまの二月
	4	<ul style="list-style-type: none"> 主旋律に低音を合わせた演奏を聴き、感想を伝え合う。 低音パートを階名で歌い、その特徴と役割を捉える。 低音パートを低音楽器で演奏する。(グループ) 主旋律(歌又は鍵盤ハーモニカ)と低音を合わせて演奏する。 自分たちの演奏とCDを聴き比べ、パートを合わせて演奏する視点を見付ける。 視点を生かし、主旋律と低音パート毎や合わせて練習する。 主旋律と低音パートを合わせた演奏を聴き合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● パートを合わせて演奏する視点を見いだすことができるように、聴き比べる活動や、他者と共有した合わせる視点の中から選択して演奏したりする活動を位置付ける。(視点) リズム・拍・音の重なり 休符 	<ul style="list-style-type: none"> 【技②】 →演奏の聴取 	
	5	<ul style="list-style-type: none"> 副次的な旋律を合わせた演奏を聴き、感想を伝え合う。 副次的な旋律を階名で歌い、その特徴を捉える。 演奏するための視点を出し合い、視点を選択して練習する。 主旋律や低音に合わせて副次的な旋律を演奏し、3つのパートの音の重なり方や音色による音楽の感じの違いを見付ける。 自分のパートと楽器を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分に合った学習ができるように皆で出し合った視点から個人課題や学び方、楽器を選ぶ活動を設ける。(課) 運指・移動・曲想や歌詞に合った演奏の仕方や音色 (学び方) 一人で・友達と・動画で (楽器) 鍵盤ハーモニカ・木琴 	<ul style="list-style-type: none"> 【知・技③】 →発言 プリント 演奏の聴取 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> 全体で演奏し、その録音を聴き、課題を捉える。 3つのパートを合わせる視点を出し合う。 各パートで集まり、見付けた視点を生かして練習する。 3つのパートを合わせて演奏し、よさや課題を見付ける。 見付けた視点や交流の気づきを生かし、グループで3つのパートを合わせて練習する。 グループで、目指す音楽を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● パートを合わせて演奏する視点を見いだすことができるように、聴き比べる活動や、他者と共有した合わせる視点の中から選択して演奏したりする活動を位置付ける。(視点) リズム・拍・音の重なり 休符・役割(バランス) 	<ul style="list-style-type: none"> 【技②】 →演奏の聴取 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> グループで、目指す演奏を確かめ、解決方法を選ぶ。 グループで、選んだ「音楽のかぎ」を使って試す。 交流し、気付いたことを出し合う。 交流で見付けた視点を生かして、演奏を見直す。 演奏を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目指す音楽が伝わる演奏を実現できるように、他者と共有した音楽を楽しくする視点の中から選択して演奏を見直す活動を位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 【思②】 →発言 観察 プリント 	
3	8	<ul style="list-style-type: none"> 「エンターティナー」の冒頭部分を聴き、気付いたことや好きなところを出し合う。 音楽に合わせて歌ったり、教科書の挿絵を見たりして聴き、楽器の音色や重なり、主な旋律の特徴を調べる。 曲の続きを聴き、前半と後半の音楽の違いを調べる。 自分なりにやりたい旋律や楽器を選び、全体を通して聴く。 他の様々な楽器による「エンターティナー」を聴く。 題材の学習を振り返り、学んだことや次に生かしたいことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味・関心に応じて主体的に音楽を聴くことができるように、聴きたい旋律や楽器を選び、表現する活動を位置付ける。 ● 他者との関わりから、考えを深めることができるように、好きなところを出し合い、繰り返し聴いたり、聴き比べたりする活動を位置付けたり、好きな理由を問うたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 【思③】 →発言、観察 プリント 	エンターティナー

5 本時の指導計画

(1) 目標

音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことを関連付け、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。

【思考力、判断力、表現力等】

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、曲想や歌詞をもとに音色や奏法、合わせ方などを試しながら、どのように演奏するかについての思いをもっている。 [思考・判断・表現]	<ul style="list-style-type: none"> ・「何で困っているか。」「どうなりたいか。」などを問い、課題解決につながる方法を選択するように促す。 ・ 困り感を周りの友達に伝え、「どうすれば解決できそうか」と関わりを促したり、教師と一緒に試したりする。

